

2019年12月5日
さいかつ農業協同組合

独立行政法人国際協力機構（JICA）の発行するソーシャルボンドへの投資について

さいかつ農業協同組合（代表理事組合長 根岸信一郎）は、このたび独立行政法人国際協力機構（理事長 北岡 伸一、以下「JICA」）が発行するソーシャルボンドへの投資を決定しましたので、お知らせいたします。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当される債券です。JICAが発行する国際協力機構債券（JICA債）は、ソーシャルボンドとして有償資金協力事業に充当され、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために活用されます。

また JICA 債の発行は、2016年12月に策定された日本政府の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」の具体的な施策の1つになっています。

当組合は、創造的自己改革への挑戦をメインに「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」への挑戦、「地域の活性化」への貢献、地域を支える大きな役割を果たす組織として活動しており、社会的責任を果たすことを経営方針の一つに位置づけて取り組んでいます。

当組合は、今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投融資を継続的に実施していきます。

（本債券の概要）

銘柄名	第51回国際協力機構債券
発行総額	180億円
発行日	2019年12月5日
期間	30年
資金使途	政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業に充当

以上